

令和3年度 評価計画及び自己評価

(計画)・中間・最終

東畑中学校区 校番 9 学校名 呉市立原小学校

a 学校教育目標	かかわり 学び 実現する	b 経営理念 ミッション・ビジョン	(ミッション) 原のまちに、呉のまちに生まれ育ったことを誇り、 (学校の使命) ふるさとの役に立ちたいと思う「明るく かしこく たくましく」生きる子供を育てる (ビジョン) 子供が行きたいと思う学校 教職員が働き (将来の学校像) たいと思う学校 保護者が通わせたいと思う 学校 地域が誇りに思う学校
----------	--------------	----------------------	---

c 中期経営目標を踏 まえた現状(進捗状 況)と今年度の重点	○ ICTを効果的に活用することにより、主体的に学び理的に思考する児童の育成を図る。 ○ 東畑中学校区の授業モデルを活用し課題解決に当たってかかわり学ぶ取組のプロセスや振り返りを大切にする。 ○ 友達や家族、地域とのかかわりにより、まわりやへの感謝の気持ちと、自己肯定感・自尊心を高める。 ○ 地域の良さを知り地域に貢献したいという気持ちを高める。
--------------------------------------	---

育成を目指す資質・能力	知識・技能 論理的思考力・判断力・表現力 主体性・積極性
-------------	------------------------------

評価計画(中期経営目標を設定してから ①・2・3 年目)						自己評価					
重点	d 中期(3年間) 経営目標	e 短期(今年度) 経営目標	f 目標達成のための方策 (こんなことをして達成します)	g 指標 (効果を見とる目安)	h 目 標 値	上半期			下半期		
						i 達成 値	j 達成 度	k 評価	i 達成 値	j 達成 度	k 評価
***	① 学力の向上を図る。	・教科の本質に迫る「考える授業」づくりを実践する。 ・学習における達成感を味わわせ自信をもたせる。	・習得・活用・探究の課程を位置付けた(東畑中学校区授業モデルやICTを活用した)授業づくりを行う。 ・意見文を書く活動や、単元末に新聞を作る活動に取り組ませる。 ・個に応じた指導の時間を確保し、基礎学力を向上させる。 ・読書や新聞に親しませたり、詩や歌の暗誦をさせる等、ことばを注入する機会を増やす。	・単元開発の実践と改善を行う。 ・学期末テスト(国算理) 60%以上の児童 30%未満の児童 ・意見文や新聞等書くことに取り組んだ児童の割合 ・はらどくの読書目標冊数を達成した児童の割合	100 85 0 100 80						
**	② 自己肯定感・自尊心を高める。	・地域の良さ、友達の良いところ、自分の長所に気付き感謝し合う風土を作る。	・生活目標(挨拶、落ち着いた行動、無言掃除、あったかことば他)を最も達成できた児童や学級を表彰する。(原っこ賞) ・運動や学習においても最初に目標を設定させる。 ・にこにこマイスターカードを活用してお互いの良さに気づかせる。 ・感謝の手紙を書かせる習慣を付ける。	・児童アンケートによる肯定的評価 「クラスや自分の目標を達成したと思う。」 「自分にはよいところがある。」 「自分のよさは、まわりの人から認められている」 「自分の住んでいる地域のことが好きである。」 ・感謝の手紙を書くことに取り組んだ児童の割合	80 86 93 80 100						
*	③ 体力の向上を図る。	・運動の習慣化を図るとともに、持久力を高める。	・感染症対策に関する児童からの呼びかけ働きかけの機会を増やす。 ・各自で「質のよい朝ごはん」と睡眠の目標を設定させ、取り組ませる。 ・学年の課題に基づいて、くれ・チャレンジマッチ・スタジアムに取り組ませる。 ・体育科の学習の前に、サーキット運動や3分間走を取り入れる。	・各委員会で取り組みを行う。 ・「はたっこLife好き週間」中に、3色そろった朝ご飯を4日以上食べた児童の割合 ・「はたっこLife好き週間」中に、寝る前1時間メディアから離れる曜日を児童に決めさせ、達成できた児童の割合 ・くれ・チャレンジマッチ・スタジアムの種目に3種類以上取り組んだ学級の割合 ・「20mシャトルラン」において、全国平均以上のグループの割合	100 80 80 100 75						
業務改善	教職員が働く楽しみと意欲を持てるよう教育環境を整備する。	・児童と向き合う時間を確保する。	・研修の時間を効率よく設定し、個々の教職員ではなく、チームで対応することを増やす。(チームによる授業研究等)	・児童と向き合う時間が増えた肯定的な回答をしている教諭の割合	80						
		・長時間勤務を削減する。	・水曜日の定時退庁、業務の見直しは教職員からの意見を拾う。	時間外在校等時間1月45時間を超えた教職員の割合(年平均)	30						

【k:評価】  
 A: 100≦(目標達成) B: 80≦(ほぼ達成)<100  
 C: 60≦(もう少し)<80 D: (できていない)<60